

神奈川県民協議会だより

こぶし



区の木：こぶし

No. 15

編集・発行 神奈川県民協議会
事務局 神奈川県役所区政推進課内
神奈川県広台太田町3-8
電話 411-7021
FAX 314-8890



第16期神奈川県民協議会は、「まちづくり 心がかよう 地域の輪」をテーマに活動を続けてきました。部会活動、「地域のつどい」などについてお知らせします。(神奈川県民協議会は略称を区民協としています。)

平成24年度

区民のつどい開催

区民協議会主催の今回のつどいは、地域の皆様のお困りごとをテーマにした、2年間にわたる第16期の部会活動の成果報告をします。

多くの区民の皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

第一部 まちづくり 心がかよう 地域の輪
～神奈川県民協議会の活動の成果報告～

**第二部 「南三陸町訪問から学ぶ ～避難所運営責任者とは？
神奈川県でも起こりうる事象とは？～」**



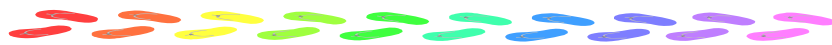
▲日時 6月30日(土) 午後2時～4時45分
(午後1時30分開場)

▲場所 神奈川公会堂

▲定員 400名(手話通訳付き)・・・参加される方は、当日直接会場へお越し下さい。

▲一時保育をご希望の場合は6月14日(木)までに事務局への事前のご予約が必要です。

当日、花苗の配布、区内産の野菜の販売もあります。配布や購入を希望される方は、なるべくエコバッグなどをご持参下さい。



神奈川県民協議会は、住みよい神奈川区のまちづくりのため、いくつかの部会に分かれて活動しています。平成24年7月から始まる第17期の活動は、月に1回程度集まって、協議・検討・調査などを行い、活動の成果を関係機関などに提言していきます。

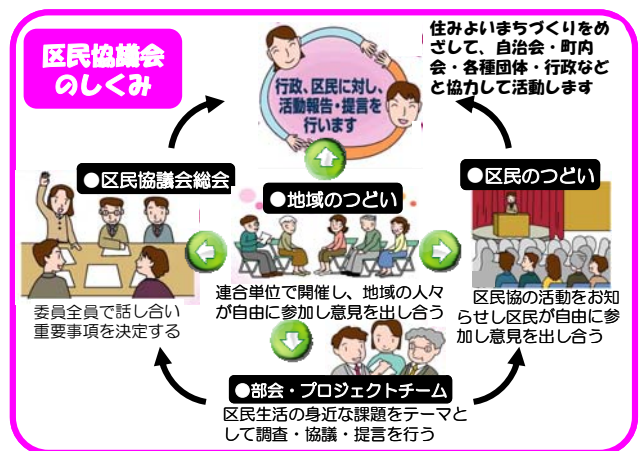
この活動を通じて、沢山のみなさんと新たに出会い、様々な発見をすることができます。

皆様も、様々な課題の解決に向けて一緒に、活動に取り組んでみませんか？

参加ご希望の方は6月30日までに、神奈川県役所区政推進課広報相談係(411-7021)まで、ご連絡ください。

—活動のテーマの候補—

- ちょっとお得なエコ活を考える
- 地域における活動の担い手の育成を考える
- 首都圏直下型地震に対する減災行動を考える
- 障害者に住みよいまちづくりを考える
- 地域に密着した犯罪抑止を考える



・各課題につきまして一定の人数に達しない場合には、活動テーマとして取り上げないことがあります。

まとめに向け、いよいよ大詰め！

なまずの会

発災時に必要な事、減災のために必要な事

なまずの会は2年間にわたり地域防災拠点について調査検討をしてきました。神奈川県に22ある地域防災拠点の運営委員長にアンケートをお願いし、そこから見える課題について、行政へ質問をなげかけるとともに行政との勉強会も開催しました。また、机上の空論とならぬように、東日本大震災で実際に避難所を運営した責任者の方々とお目にかかり、本当に必要なことは何かを学んだり、液状化の視察をしたりしました。

東日本大震災以降頻発する地震、被害想定の見直しが行われた首都圏直下型地震等、地域防災拠点も区民一人ひとり意識の転換が必要な時がきていると思います。これらを踏まえ、2年間の活動の中から、以下の点を「区民のつどい」で発表いたします。

- ①備蓄内容について
- ②拠点運営委員の選出について
- ③防災訓練や図上訓練について
- ④地域防災拠点割り振りについて
- ⑤区役所の安全性、機能について
- ⑥物資の輸送体系について
- ⑦減災のために必要な事について



横浜市で一番の液状化被害
50cmの陥没と1m50cmの隆起

スケットかながわ

「要援護者・支援可能者の緊急時地域ぐるみの把握」について

他人から、助けてと言われれば手を差し伸べる人はたくさんいます。しかしながら、隣近所に私を助けてくださいと積極的に伝えている方は、高齢者・障害者ともに少ないのが現状でした。

また、区内のお年寄りは一人居らしや夫婦二人暮らしの方が多く、障害者は地域に親しい人がいないと感じている方が目立ちます。

この様なことが私たちのアンケート調査から分かりました。スケットかながわでは、高齢者や障害者など要援護者がご近所でふれあい、助け合っていくためにはどうしたら良いのだろうか、662件のアンケート結果を分析し、自助・共助・公助の視点から、考えました。

要援護者に大きな負担を強いる事のない「自助」を提案します。それは「助けられ上手になろう」ということです。この自助は、共助や公助を引き寄せます。

地域ぐるみの「共助」は町内会や民生委員・児童委員、ふれあい訪問員等の方々により成り立っていますが、この仕組みがより良いものになり、見守りの負担が減る方策を提言します。

また、もう少し工夫してほしい「公助」についても提言します。

具体的には、冊子「活動の成果」に詳述しましたので、ご覧ください。

要援護者が住みやすい町は、誰にとっても住みやすい町です。このような町になってほしいと願っています。



ボーダーの会

区境での問題点の掘り起こしと行政への提言

神奈川区は、5つの区(鶴見・港北・緑・保土ケ谷・西)と、34の自治会、町内会が隣接しています。

ボーダーの会では防犯・学区・避難場所について、隣接するが故に生ずる問題点をテーマに活動を展開しました。現状を把握するため、隣接する各区の防災マップ等の資料を収集、更に避難場所の調査、他の区に隣接する3地区(松見地区・羽沢地区・神之木西寺尾地区)で抱えている諸問題についての聞き取り調査を実施しました。

◆問題点

- ・他の区の避難場所と比較して、指定された神奈川区の避難場所は遠い。
- ・各区の防災マップの凡例表示などが統一されていない。
- ・他の区の犯罪情報が入ってこない。

◆提言

- ・地域防災拠点の見直し→横浜市レベルで検討し、神奈川区内に限定せず、身近な地域防災拠点(学区単位)へ避難する。
- ・防災マップの表示方法(語句・凡例)を統一する。
- ・隣接する他区の犯罪情報を流す。

今回の活動を通して、区境という特殊な視点から防犯・学区・避難場所という問題に絞って現状を見て来ましたが、諸々の問題点が見いだされたことで、今後住民の一層の「安全」と「安心」に役立つことができれば幸いです。



つながろう会

参加を促す視点から、地域ぐるみで育成する視点へ

つながろう会は、中高生を地域につなげる仕組みづくりと、地域の人材発掘をテーマに活動してきました。中高生のニーズを把握するため、今期4回行った中高生ミーティングの結果を踏まえ、提言します。

◆提言

「参加から育成へ、視点の変更をすること」

レクリエーションや地域行事に参加してもらおう視点から、地域ぐるみで将来の地域の担い手となる中高生を育成する視点へと、変えていくことが重要と考えています。

①学校が、生徒の地域活動を評価する体制づくり

地域ボランティアは、青少年の社会教育としての効果もあります。内申書などで、これを評価する姿勢は、中高生の地域への参加意欲を高めることにつながります。

②地域が、中高生を実行者の一員として迎え入れる環境づくり

中高生に任せることは、達成感を与えることができます。参加を呼び掛けるだけでなく、同じ目線で同じ行事をやっていこうという心構えで、できる範囲の仕事を任せてみると効果が期待できるでしょう。



地域の皆さまの協力で「地域のつどい」を開催しました。

区民協は「地域のつどい」を開催して、地域の皆様方からお気づきの点の数々を、その実態、改善案なども含めご意見として広くいただき、それらのご意見の中から活動テーマを設定。これにより早期に活動を始め、区民の皆様身近なテーマで活動できるようになりました。地域に根ざした活動を通じて、区民の皆様の日常の「役に立つ」団体を目指します。

第16期 地域のつどい開催状況

- ・平成23年 2月20日(日) : 神北地区
- ・平成23年 3月13日(日) : 大口七島地区
- ・平成23年 12月 3日(土) : 入江地区
- ・平成24年 3月31日(土) : 幸ヶ谷地区
- ・平成24年 4月 1日(日) : 青木第一地区
- ・平成24年 5月16日(水) : 片倉地区 内容次回掲載

第3回 入江地区

開催日：平成23年12月3日(土)

場 所：入江二丁目町内会館 参加者：48名

入江地区は横浜線大口駅東口方面に位置し、四つの町内会で構成されています。総合病院、大型スーパー、家電量販店、神之木地区センター、神之木地域ケアプラザ等があり、徒歩圏に大口通商店街もあります。便利で住みやすい地域ですが、ごみ出し、歩道の問題、樹木のはみだし等身近な困りごとのご意見をいただきました。入江地区の皆様、ありがとうございました。



第4回 幸ヶ谷地区

開催日：平成24年3月31日(土)

場 所：幸ヶ谷集会所 参加者：32名

幸ヶ谷地区は歴史のある洲崎神社を始め「幸ヶ谷集会所」のある神奈川公園、桜の名所として有名な幸ヶ谷公園、幸ヶ谷小学校があります。この地区は、7つの町会で構成されています。近くの散歩コースにはMM21等、バイエリがあります。最

近では高層マンション群も増え、地元住民とマンション住民との関係での困りごとや、役員世代交代等のご意見をいただきました。

幸ヶ谷地区の皆様、ありがとうございました。

第5回 青木第一地区

開催日：平成24年4月1日(日)

場 所：反町地域ケアプラザ 参加者：55名

青木第一地区は、東急東横線の反町駅を起点に東西に商店街があり、駅前には国道一号線が通っていて、その国道を挟むようにして14の自治会・町内会が存在しています。当日は、準備した席を追加する程の盛況で、住民の町会への関心の高さが感じられました。当地区は、大変住みよい町との印象が強いですが、宅地からはみ出た樹木の問題や、ごみの出し方とマナーの問題等の意見が参加者から幾つか出され、和やかな中にも真剣な話し合いが行われました。青木第一地区の皆様、ありがとうございました。



岡田区長との懇談会

平成23年11月1日（火）に、区長との懇談会が開催されました。区役所からは、区長をはじめ、副区長、区政推進課課長、地域振興課学校支援連携課長、地域振興課担当係長、総務課危機管理担当係長、福祉保健課事業企画担当係長等のご参加をいただき、区民協議会からは、正副代表委員、各部会正副部会長等が参加しました。各部会から5分程度ずつ、「区民のつどい」発表以降の活動状況の説明をし、その後、懇談をしました。区長は大変熱心に耳を傾け、それぞれの部会に対して暖かい応援の言葉をかけてくださいました。また、部会からの質問に対しても真摯にご回答くださり、部会活動の充実につながる良い機会となりました。とても有意義な時間を過ごすことができ、時間は瞬く間に過ぎて行きました。このような機会を通して、区民協議会は、「住んでよかった神奈川区」を実感できるような活動をしていきたいと思えます。



「区民まつり」に3度目の出展

神奈川区の「区民まつり」は、平成23年10月9日（日）に盛大に開催され、区民協としては3度目の出展になりました。前年の「区民まつり」は新しいメンバーで、勝手がわからず

無我夢中でしたが、今回は2年目になって気持ちにも余裕ができ、準備の段階から前回ほどの緊張感は見られませんでした。広報活動は、これまでに行った「地域のつどい」や「区民のつどい」で区民の皆様からたくさんの貴重なご意見をいただいたので、アンケート調査は行わずPR冊子を新しいものに変えて配布を行いました。また、販売活動は、フランクフルトとホットドッグを販売し、委員の熱意と努力で800食余りを完売することができました。当日は



好天に恵まれて、来場者も6万人を超えました。私たち区民協のお店にもたくさんのお客さんが見えになり目のまわる忙しさでしたが、委員みんなの協力で充実した一日でした。

第16期・第2回 施設見学会が開催されました！

平成23年12月6日（火）に横須賀にある港湾空港技術研究所の見学会が開催され17名が参加しました。

港湾空港技術研究所は、港湾や空港に関する安全研究をしています。その中から主に津波に関して学びました。津波に関する映像を見たり、津波と高潮の違いについて説明をうけたりしました。また、地震による港湾設備の液状化を防ぐための実験施設、水中深くにある設備の点検等に使用する水中ロボットや海中に流れた油の処理をするロボットの実験施設、3種類の人工干潟での生物観測施設、津波の発生による水圧実験施設の4つの研究施設を見学しました。

地震や津波に備え、様々な研究実験が行われていることを知り、有意義な一日を過ごすことができました。



第37回 区民会議交流会へ参加

平成23年11月26日（土）に区民会議交流会が波止場会館にて開催され、神奈川県民協議会も参加しました。今回は、「区民会議の現在・未来」をテーマに、横浜市の5区（神奈川区、保土ケ谷区、旭区、港北区、青葉区）が集まりました。

第1部の活動報告では、佐藤代表委員が「地域のつどい」から出た区民のニーズを基に、部会活動を行っていることを発表しました。

第2部の意見交換では、発表内容を受けて「地域のつどい」の流れや、区民協の活動テーマとして取り上げなかった案件の区民への回答方法などの質問をいただきました。

「区民のつどい」で、よりよい成果を皆様へお伝えできるよう、いただいたご意見や、他区の事例も参考にしていきたいと思っています。



第16期の活動をふり返って

日頃より区民協議会の運営・活動についてご協力いただきありがとうございます。

第16期の区民協は、「皆様の地域で生活するにあたり、お困りのことは何ですか？」との声かけから始まりました。そして、これら多くのお困りごとを集約して、4つの課題を活動テーマとして取り上げ、4部会により活動してきました。

16期メンバーの特色は、非常にフットワークが良く、現状把握をするために徹底的に、現地調査・聞き取り調査・資料収集・アンケートの実施を行ってきたことです。フットワークの良さが高じて、東日本大震災の被災地にまで足を伸ばして実情調査を行った部会もありました。各部会活動の内容には、このような真剣な取組・情熱・真面目さが反映されているものと確信しております。そして、ここまで活動ができました背景には、連合自治会・区老連・地域ケアプラザ等数多くの皆様のご支援がありましたことを、深く感謝する次第です。

これからも「住んで良かった神奈川区」を実感できるような活動を目指します。

今後とも、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

第16期 神奈川県民協議会 代表委員 佐藤 潮

編集後記

- ・「こぶし15号」をお届けします。4部会とも16期最後の年の、まとめに力を入れています。是非、ご覧下さい。・・・(T.K.)
- ・16期区民協議会2年間仕事と両立良く頑張った部会長のmissionは！・・・(T.K.)
- ・あっという間の2年間、広報委員になって、より大局的にものを見るようになりました。・・・(H.S.)
- ・情けは人のためならず、どんなに忙しくても自分の糧になると信じ活動してきた2年間。広報委員会は効率的作業集団でgood!・・・(M.S.)
- ・地域の皆さんとの触れ合いから多くのことを学ぶことができ、有意義で充実した2年間でした。・・・(H.T.)
- ・初の区民協。いろいろ地域を学べて楽しい活動でしたっ！・・・(T.S.)
- ・区民の皆さまの身近な活動に、ようやく少し目処がたったようで、ちょっとうれしく安心しております。ああ、春だ・・・!・・・(M.U.)
- ・この他に、K.T.委員も、参加、活動して来ました。